

中学生に向けた人体影響を理解してもらうための教材の作成

○新井 かおり

1. はじめに

小中学生向けの放射線教育では、人体影響についての説明が非常に少ない。大人向けの図説資料集などは見受けられるものの、それをそのまま小中学生の教育に用いることはむずかしいため、小中学生向けの人体影響に関する図説資料を作成する必要性は高いと考えられる。

ソフト等を用いずに、一般的なパソコンさえあれば、どこでも手軽に教育実践ができる。広い場面での活用が期待される。

2. ターゲット

中学生

3. 目的

中学生が放射線の人体影響について理解できるような、視覚表現を多用したプレゼンテーション資料

4. 教材の内容・方法・進行

1) 主な内容

放射線がどのようにして細胞を傷害するのか、どのようにしたら放射線の影響を防ぐことができるのかについて説明する。

2) キャラクターによる表現

キャラクターを用いることで、親しみやすさを持たせた表現をする。

3) 動的な表現

パワーポイントのアニメーション機能を多用することによって、放射線が細胞に与える影響について段階的にわかりやすく説明する。

5. 新規性・期待される効果

中学生向けとして、人体影響を中心とした図説資料であることが新規性の1つである。

また、プレゼンテーションツールとして汎用性が高いパワーポイントを用いることで、特別な専用